

こっこめ通信 04 2012

「知ると楽しい」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

3月20日から八丈島では「フリージアまつり」が開催されています。毎年開催に合わせてフリージアの花が咲くように準備していますが、今年は気温の変動が激しく、初日には開花が間に合わなかったようです。それでも、一人20本までの摘み取り体験ができるので、家に帰ってからたっぷりとフリージアの香りが楽しめるのではないのでしょうか？

また、山でもオオシマザクラが咲き出し、山肌に点々と白い部分が増えてきています。そして3月28日、公園の中にある標本木のソメイヨシノに6つ目の花が咲き、八丈島のサクラの開花日となりました。去年の開花は4月1日、満開が4月8日でしたので、今年は4月6日の入学式の頃が満開になるのではないかと予想されます。

さて、今回は新しく始めた展示「『ウミウシいろいろ』展示」、カンムリウミスズメに関する「カンムリウミスズメを知ろう！」「カンムリウミスズメの海上調査」についてのお話です。

「ウミウシいろいろ」展示

ビジターセンターの中には、八丈島のいろいろな生きものを紹介している展示水槽があります。その展示水槽を見ている来館者から「これは何ですか？」といつも質問されるのがウミウシでした。そこで、名前は聞いた事があるけど、なんだかよく分からないウミウシを紹介する展示「ウミウシいろいろ」を水槽近くに作りました。

島で撮影したいろいろな種類、形、模様のウミウシ写真と、Q&A形式でウミウシの生態を紹介しています。「ウミウシってなに？」「アメフラシもウミウシ？」「何で八丈島にはウミウシがたくさんいるの？」「ウミウシって大きいんでしょ？」「ウミウシは何を食べているの？」「ウミウシの色は何で派手なの？」「ウミウシはどこにいるの？」「毒を持つウミウシに敵はいないの？」いろいろな疑問にお答えしています。気になった方は、是非、ビジターセンターの答えを見に来てください。水槽の中ではたくさんのウミウシを飼育しています。



なぜ 八丈島には
ウミウシが
たくさんいるの？

八丈島はサンゴ礁ではなくゴツゴツとした岩場（サンゴもあります）です。そのゴツゴツとした場所にはウミウシの餌となるカイメンやコケムシなどがたくさんあります（身を隠す場所にもなります）。また、ウミウシは幼生時代に漂流生活を送ります。その幼生が海流（黒潮）に乗って八丈島にたどり着き、豊富な餌によって、大きく成長する確率が高いのかも知れません。



今回は新しい試みとして、フォトフレームを使っています。スタッフが八丈島の海の中で撮影した動くウミウシの映像を流しています。

ゆっくりのんびりと動いているイメージのあるウミウシですが、実際海の中で見ると動きがとても速いです。また、波に耐えて張り付いているウミウシの姿、ウミウシの泳ぐ姿など、写真からは伝わりにくいものを映像でお見せしています。流している映像は、今後、新しいものに更新していく予定です。お楽しみに！

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

カンムリウミスズメを知ろう！

3月10日、日本野鳥の会の山本裕氏を講師に招き、「八丈小島探鳥クルージング」と講演会「天然記念物の海鳥・カンムリウミスズメの現状と保護」が開催される予定でした。しかし、当日は定期船が欠航してしまうほど海は大荒れ、クルージングは中止となってしまいました。また、飛行機欠航で、講師が来島できないかもしれないというハプニングもありましたが、夜の講演会は予定通り無事に開催されました。講演は、海鳥の話から始まり、カンムリウミスズメの生態や何故保護が必要なのか、いろいろな地域での調査の報告など、あっという間の2時間でした。参加者の方々は、自分たちが住む八丈島のすぐ近くにある小池根（写真下左）で繁殖している天然記念物カンムリウミスズメの話に聞き入っていました。また、最後には、「小池根を国指定の保護区にするにはどうすればいいのか」など、これから自分たちがどうするべきなのか、質問が出ていました。ビジターセンターでは、また、このような機会を設けて、島の人に知ってもらいたいと思います。



八丈小島の属島の小池根、八丈小島からは200m離れている。

アナドリ、オオズナギドリ、ヒメクロウミツバメ、オーストンウミツバメ、ウミネコ、カンムリウミスズメの繁殖が確認されている。
(長谷川、未発表)

磯釣りのため上陸する事もある。



カンムリウミスズメの海上調査

3月20日～23日にかけて、日本野鳥の会の方々が、八丈島周辺でのカンムリウミスズメの海上調査を行いました。今回、ビジターセンタースタッフの菊池と高須が、22日の調査に同行させていただくことができました。当日は、野鳥の会のスタッフ4名と2隻の船に分乗し、西沖と南東沖に分かれて調査を行いました。私たちは、八丈小島周辺の西沖の海域を調査を担当。海上は波が高く、浮いているカンムリウミスズメを探すにはコンディションはよくはありませんでしたが、浮いている姿を想像しながら楽しく調査ができました。

結果（画像下左）は、飛んでいる2羽、浮いている1羽、飛んでいる1羽の姿を確認できました（その他観察鳥類：ウミウ、ミサゴ、オオズナギドリ、ウミネコ、オオセグロカモメ）。南東沖のチームも4羽を確認したので、22日は計8羽の記録となりました。つかまっていなくて立ってられない船の上なので、ビデオ映像に映っていたのは黒い点だけ（写真下右）。大海原で、全長24cmの鳥を探すのは難しいですね。

繁殖期間は、周辺海域でも見られるので、もう一度リベンジをしてみたいと思っています。

日本野鳥の会では「カンムリウミスズメ保護の取り組み」を行っています。過去の調査報告や詳しい生態などはホームページからも見る事ができます。

<http://www.wbsj.org/nature/kisyou/sw/>



調査コース・カンムリウミスズメ確認場所は正確なGPSデータではありません。
日本野鳥の会の記録データを参考にビジターセンターで作成したものです。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は3月11日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成24年第3回）参加者：菊池昭、小林、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			シダ植物		
1	アオノクマタケラン	昨年の実	1	イシカグマ	
2	アツバスマシ	花	2	イノデ	
3	イワニガナ	花	3	オオイタチシダ	
4	ウラシマソウ	花	4	オオタニワタリ	
5	オオシマカンスゲ	実	5	オニヤブソテツ	
6	オニタビラコ	花	6	カニクサ	
7	オランダミミナグサ	花	7	コハシゴシダ	
8	キランソウ	花	8	タチクラマゴケ	茎の先が立ち初め
9	コケリンドウ	花	9	タチシノブ	
10	コスミレ	花	10	タマシダ	
11	コナスビ	花	11	ナチシケシダ	
12	シチトウスミレ	花	12	ノキシノブ	
13	スズメノカタビラ	花	13	ハカタシダ	
14	ツルソバ	花と実	14	ハチジョウカナワラビ	
15	ノミノフスマ	花	15	ハチジョウシダ	
16	ハナイバナ	花	16	ハチジョウベニシダ	
17	フウトウカズラ	熟した実と蕾	17	ヒトツバ	
18	ムラサキカタバミ	花	18	ホシダ	
木本			19	マツバラン	胞子が飛ぶ
1	アオキ	昨年の実と花	20	マメツタ	
2	イヌビワ	実	今回観察した植物は、シダ植物20種を含む51種と種数は少なかったです。その代わりに、雄花と雌花の違いをモチノキ、オオバヤシャブシ、ハチジョウキブシで確認したり、フウトウカズラの実が残る雌株と蕾が見える雌株を比べたり、個々の植物をじっくり観察しました。もう少し春らしい植物が多く見られても良い筈ですが、今年は他の地域と同様、八丈島でも春が遅いようです。		
3	オオアリドオシ	熟した実			
4	オオバヤシャブシ	花			
5	オオムラサキシキブ	昨年の実			
6	カジイチゴ	花			
7	サカキカズラ	実が割れる			
8	タイミンタチバナ	花			
9	ハチジョウキブシ	花			
10	ヒサカキ	花			
11	モチノキ	花			
12	ヤツデ	実			
13	ヤマモモ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、八丈ならではのウミウシ「コンガスリウミウシ」にスポットを当ててみたいと思います。



コンガスリウミウシ *Chromodoris sp.1*

裸鰓目ドーリス亜目イロウミウシ科のウミウシで、三宅島、八丈島、小笠原諸島で多く見られます。大きさは30mm程、背面は青く細い線が何本も入ります。線の間に白から黄色いにかすれたような模様が入る事もあります。縁は黄色、触角と二次鰓はクリーム色です。

八丈島では一年を通して浅い海で見ることが出来ます。

2012 八丈ビジターセンター 4 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク 「スケッチで観察・公園の植物 第1回樹木のイメージ」 01:33 06:33 10:53 18:52	2	3	清明 4 03:35 09:37 15:34 21:45	5	6	○ 7 ガイドウォーク 05:01 11:23 18:01 23:43
8 ガイドウォーク 「スケッチで観察・公園の植物 第2回鉛筆で葉っぱを描く」 05:30 12:01 18:49	9	10	11	12	● 13 08:21 03:13 16:14	14 ガイドウォーク 00:19 05:06 09:37 17:40
15 ガイドウォーク 「植物公園季節調査会」 「スケッチで観察・公園の植物 第3回ペンで枝を描く線と点」 01:37 07:30 12:13 19:10	16	17	18	19	東段雨 20	● 21 ガイドウォーク 04:39 11:06 17:44 23:20
22 ガイドウォーク 「スケッチで観察・公園の植物 第4回色鉛筆の表現」 05:04 11:35 18:18 23:49	23	24	25	26	27	28 「さえずりを聞き分けよう」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 07:49 02:30 22:35 15:18
● 29 「八丈富士ハイキング」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 08:45 03:44 23:52 16:25	30 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 10:40 05:45 17:46			この色の日 は 特別行事があります		

イベントプログラム

特別行事 「スケッチで観察・公園の植物」	4週連続の4回シリーズ。第1回は必修、以降はすべて参加、又は選んで参加になります。 4/1・8・15・22（13:30～ 約2時間） 小学5年生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 4/8（13:30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
八丈学講座 「さえずりを聞き分けよう」	毎月行っている八丈学講座。ホテル水路周辺で島ならではの鳥のさえずりを聞き分けましょう！ 4/28（13:30～ 約1時間半） 中学生以上 鴨川ホテル水路 集合・解散 参加費：50円 定員：15名
GW特別行事 「八丈富士ハイキング」	毎年恒例の八丈富士ハイキング！1280段の階段を登り終えた後に見えるのは… 4/29（9:30～ 約6時間） 八丈富士鉢巻き道路登山口集合・解散 小雨決行 小学生以上（低学年は保護者同伴） 参加費：50円 定員：20名
GW特別行事 「バードウォッチング入門」	公園内でのバードウォッチングの入門編、双眼鏡で「アカコッコ」を探しましょう！ 4/28～4/30（10:30～ 約1時間）【5月6日まで毎日開催】 だれでも ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名 雨天中止
GW特別行事 「体験八丈太鼓」	両面から打つ、島の太鼓を体験してみませんか？日頃のストレスを発散できますよ！ 4/28～4/30（13:30～ 随時）【5月6日まで毎日開催】 だれでも ビジターセンター入口にて 無料 雨天中止

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2012.4.1 第131号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

日本野鳥の会の調査に同行させていただいた時、カンムリウミスズメの飛んでいる姿を初めて見ました。想像していたのとは違って、水面近くを早い羽ばたきで飛んでいました。知らなかった事を知る事は、次に繋がる大事な事ですね。（高）